

平成31年 1 月分 「市民の声」

受付日	完了日	件 名 ・ 内 容	対 応	担当課
1月25日	2月13日	<p>市民の声 届いてる？ 全く届いている様に思えなく残念です。 回答は、『今の状況をご理解ください』というものばかりで、残念です(T_T) 沼津市の市長も生で見かけないので、信用しづらく、せつかくの声が書き消されてる様です。 声がしっかり届いてるのであれば、広報誌に記載するべきだと思います。 回答も、市長の名を語った役員では？不信感が積もりま</p>	<p>皆さまからいただきました市政に対するご意見、ご要望などにつきましては、「市民の声」として市民相談センターで受け付けた後、担当部署に対応を指示します。 そして担当部署にて市政への反映方策について検討した結果を市長が確認した上で、ご意見などを送ってくださった方にその結果を送付しております。 いただきましたご意見などの中には様々な事情により市政への反映が難しいこともございますが、皆さまからのご意見・ご要望などは市政を運営する上で大変重要であるものと考えておりますので、今後もご意見などございましたら、市民相談センターにご連絡ください。 なお、「市民の声」で、市政に反映された事例につきましては年1回でございますが、広報ぬまづに掲載しております。また沼津市のホームページにも「市民の声」を公表することに同意くださったご意見などを掲載しておりますのでご覧ください。</p>	<p>広報広聴課</p>

平成30年7月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
7月17日	7月26日	<p>メールマガジン運用停止</p> <p>「メルめま！」が終わるということですが、非常に残念です。私はパソコンもスマートフォンも持っていないため、この「メルめま！」が唯一の情報を得る手段なんです。そんな弱者のためにもどうか続けてください。お願いします。</p>	<p>「メルめま！」は、「広報めまづ」や「ホームページ」以外による、市政情報の発信方法として、平成22年に導入して以来、観光や子育てなどの情報を毎月お届けしてきました。しかしご案内させていただいたとおり、よりたくさん情報を直感的にお伝えできるSNSの利用者が急増している状況であり、すでに本市でも「facebook」「twitter」「Instagram」の3種類を採用し、日々情報発信を行っております。</p> <p>一方で、文章だけのメールマガジンの登録者はここ数年頭打ちになっており、アンケート結果などからも、実際の読者は登録者の6割程度であるということがわかっています。</p> <p>廃止決定に至るまでには、2回ほど市民意識調査を行うとともに、本年度においても、試験的に5月15日号と6月1日号の両号の配信を停止しましたが、皆様からの反応が見られなかったため、廃止に踏み切らせていただきました。</p> <p>スマートフォン等をお持ちでない方にとりましては、サービス低下の印象があるかもしれませんが、「メルめま！」の送信内容自体は、主に直近の観光イベントや子育てひろばの情報など、決して「広報めまづ」を超えるものではありません。</p> <p>もし、市内にお住まいでいらっしゃるのであれば「広報めまづ」を見ていただいた方が、むしろ広範囲で詳細な情報を得ていただけるものと確信しております。</p> <p>また市外にお住まいの方であれば、ご希望に応じて「広報めまづ」をお送りすることも可能ですので、その場合は改めてお申し付け下さい。ただし、送料はご負担いただくこととなりますのでご了承ください。</p> <p>変更に伴いご不便をおかけして申し訳ありませんが、今後さらなる魅力的な情報発信に力を尽くしていく所存ですので、何卒ご理解をいただきたく、謹んでお願い申し上げます。</p>	広報広聴課

平成30年5月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
5月17日	5月25日	<p>行方不明者捜索の同報無線と、「numazu topics」の連動 現在、行方不明者の捜索として、同報無線が活用されていますが、せっかく沼津市役所としてフェイスブックの公式アカウントがあるので、そちらにも、都度掲載してみたいかがでしょうか。同報無線がうまく聞き取れなかった場合でも、フェイスブックにて文字情報で確認できれば、捜索精度があがると思います。 危機管理課と広報広聴課との日頃からの連携強化のためにも、一考ください。</p>	<p>行方不明者捜索の放送につきましては、警察署からの依頼で沼津市が同報無線で放送しております。 ご意見いただきました、Facebookを活用した行方不明者の捜索につきましては、Facebookを含むSNSの特性上、行方不明者の個人情報がネット上に永久に残ってしまうなどの懸念があることから、現状では、慎重を期すべきものと考えております。 ご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。今後も、市政情報の適切な発信に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>	広報広聴課

平成30年3月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
3月5日	3月22日	<p>広報ぬまづの改善について 最近の広報ぬまづは、フリーペーパーのようで、市の広報っぽくないような気がします。 駅の高架や高尾山古墳、子育て問題、高齢化問題、人口減少、一連の市長の発言内容(問題になっていますよね)など、市の施策や現状、方向性を掲載していくべきものではないでしょうか。 イベントの案内や市民インタビュー、おしゃれなお店の紹介とか、アニメも同様、これで月2回回覧される価値ってあるのでしょうか。 忙しい市民が月2回手間かけて読む必要が感じられません。そういうものは、チラシやポスター、SNSで十分なのではないかと思います。もっと行政らしく、市民に施策を丁寧に伝えるものであってほしいと思います。ご検討下さい。</p>	<p>広報ぬまづは、幅広いすべての沼津市民に市政情報や各種イベント情報などをお届けすることを目的としており、各世帯に配られる広報ぬまづを市民の皆さんが手に取って読んでいただき、そして、市の事業や各種イベントに興味を持っていただきたいという思いで広報ぬまづの編集に取り組んでおります。 そのため、広報ぬまづの掲載内容については、市政情報等を掲載することに加え、目を引く写真やデザイン、取材をした方の生の声などを取り入れることにより、広報ぬまづをより身近に感じていただけるよう心掛けております。 また、市民で構成される「市民パートナー会議」から、広報ぬまづに対する直接のご意見を伺うほか、市民意識調査の結果なども参考に作成しております。 市民の皆さまからは、写真やデザインについて好感が持てるなどのご意見もたくさんいただいておりますが、今回いただいたご意見も参考に、より多くの市民の皆さまに愛着を持っていただくとともに、市の事業に興味や関心を持っていただけるよう広報ぬまづの作成に取り組んでまいります。</p>	広報広聴課

平成30年1月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
1月26日	2月15日	<p>広報ぬまづの紙媒体での発行廃止及び電子化への推進について</p> <p>現在「広報ぬまづ」は、月2回、8万3千部発行しているのですが、1部あたりの印刷単価及び、各自治会への配送経費を含めた年間の発行費用(記事作成の人件費を除く)は、いくらでしょうか。</p> <p>また本広報誌の印刷会社の選定にあたっては、どのような手順で決めていて、見積査定は行われていますか？</p> <p>今後、市の財政が厳しくなる中、例え一時的に拒否反応が出ても、廃止もしくは他への置き換えによって経費削減ができるものは、どんどん推進していくべきだと思っています。</p> <p>しかし沼津市に限らず、官公庁においては、その必要性が薄れてきているのにも関わらず、一度決めたことを変更したりする動きが鈍いように感じます。</p> <p>例えば、現在紙媒体で配布している「広報ぬまづ」ですが、5年後を目途に紙媒体での配布は、トピックス記事とその号の記事の見出しだけのA4両面1枚程度にして、その他詳しくは、市役所HPの電子版をご覧下さいにし、その一方で、現在市役所のHPに紙ベースレイアウトを単にPDFで掲載している広報ぬまづの掲載方法は見直し、yahooのポータルサイトのようにインデックスを付けて、視認性及び検索性を上げたものにすれば、紙面の制約なく、カラー写真や動画をふんだんに使った記事を掲載でき、また現在防災無線で放送していて、聞き取りにくい行方不明者の搜索情報や災害時情報もリアルタイムで掲載できると思います。</p> <p>さらに現在の紙ベース広報では情報が行き届かない、視覚障害の方や外国人市民の方にも、AIスピーカーなどの技術を使えば、情報を共有することができ、ユニバーサルデザインの観点からも利便性が向上すると思います。</p> <p>何よりも、まずは手始めに、身近な広報ぬまづを電子化することによって、これを基点に市民のITリテラシーを上げ、老若男女問わず誰でもタブレットPC程度の操作能力を共有できれば、現在紙ベースや人対応で行っている市の各種サービスの手続きも、サービス水準を維持したまま、コスト削減や効率化でき、その削減したコストを原資に新たなプロジェクトに回すことできると思います。</p> <p>せっかくIT最大手出身の方が首長を務めている自治体なので、是非とも先進的な取り組みをして、魅力ある沼津を内外にアピールして下さい。</p>	<p>広報ぬまづは、幅広い世代のすべての沼津市民に市政情報や各種イベント情報などを届けることを目的に月2回発行しております。また、印刷業者の選定に当たっては指名競争入札を実施し、より安価な価格での契約になるよう取り組んでおります。</p> <p>本年度実施した市民意識調査では、市政情報の入手方法として広報ぬまづと回答された方が約90%と最も多く、現状、市民の皆様にとりましては、市政情報を入手する媒体として広報ぬまづは最も重要なものであると認識しております。</p> <p>しかしながら、市政情報をホームページやSNS等から得ている方も増加傾向にあるため、広報ぬまづについてはスマートフォン向けアプリ「マチイロ」からも配信するなど、ITを活用した情報発信に取り組んでおります。</p> <p>ホームページの運用では、閲覧者の誰もがわかりやすく、探しやすい環境を構築するため、スマートフォン・タブレット端末での閲覧対応や探しやすいメニュー設計を進めております。また、高齢者や障がい者を含め誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できるようなウェブ環境の向上にも取り組んでおります。イベント情報など即時性の高い情報についてはフェイスブックやツイッターなどのSNSを活用し新鮮な情報をお届けできるよう努めております。</p> <p>いただいたご意見も参考に、引き続きより多くの市民の皆様にも市政情報などをお届けするため、広報ぬまづだけでなく様々な媒体を活用した情報発信に取り組んでまいります。</p>	広報広聴課

平成29年12月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
12月4日	12月28日	<p>広報ぬまづ掲載の「ぬまづの宝100選」について 広報ぬまづについてなのですが、いくら前市長の施策だからとはいえ、もう『ぬまづの宝 百選めぐり』は連載しないのでしょうか……。</p> <p>百選めぐりなので、第100回まで続くと思ってました。第61回(自分の認識違いや読み飛ばしがありましたらすみませんが)で終わりにするなら終わりにするで、ここまで長く載せてきたのですから、今回で終了くらい書いて欲しかったです。楽しみにして、読んでいましたよ。</p> <p>掲載に限りある紙面ですし、もう載らないなら載らないで仕方ないとは思いますが、何故ここまで連載したものを終了にしたのか？</p> <p>連載再開の見込みはあるのか、ないのか？</p> <p>以上2点について御回答頂きたいです。</p>	<p>日頃より広報ぬまづをご愛読いただきありがとうございます。本市では市民の皆様からお寄せいただいた、自然、歴史、文化など様々な沼津の魅力「私の沼津の自慢」をぬまづの宝100選として紹介しております。</p> <p>こうした沼津の魅力をより多くの市民の皆様を知っていただくため、広報ぬまづ1日号の裏表紙に掲載しており、今後も引き続き紹介していく予定です。</p> <p>広報紙の掲載内容については、限られた紙面の中で、市民の皆様にお知らせする内容を厳選し紙面を作成しております。また、ぬまづの宝100選の中には桜の名勝や地域のお祭りなど掲載時期が限定されてしまうものも数多くあります。そのため、必ずしも毎1日号に「ぬまづの宝100選」を掲載できない場合が生じてしまうことをご了承願います。</p> <p>今後も市民の皆様にご愛される広報ぬまづの作成に努めてまいります。</p>	広報広聴課
12月4日	12月28日	<p>「市民の声」入力フォームについて 市HP「市民の声」入力フォームをスマートフォンから入力し終えて、送信しようとしたのですが、性別欄が『男、女』しか選べないのは全ての市民に対して関わる“公”としていかなものかと思えます。『その他』も追加できませんか？そもそも市民の声に“性別”は必要ですか？</p> <p>どんな属性や層の方からの声なのか分かることで、理解や対応の参考になるということも分かりますが、例えば『どの程度の年収からの声なのか分かる』と良いから、200万、200～300万、300～400万、400～……』のような欄が必須入力で設置されてるのと同じようなものですよ。</p> <p>利用にパーソナルな情報を必須としないのに、必須とされていることが問題と思えます。『参考のために、任意でご協力頂く』範囲内では？</p> <p>性別に『その他』選択肢を増やすことによる議論が大変、集計も考えなおさなければいけないので大変だというのなら、せめて性別は“任意入力”にすべきです。ご検討頂きますと幸いです。</p>	<p>現在、「市民の声」で入力していただく項目としましては、「件名」「ご意見・ご提案」「公表の可否」の他、ご意見者様の個人情報として、「氏名」「性別」「年齢」「住所」「電話番号」「E-mail」の9項目を設定しております。</p> <p>その内、ご意見に対するご回答をお送りさせていただくため、9項目のうち、現在、「E-mail」のみを必須項目としてご案内しておりましたが、ご指摘のとおり、「性別」の項目につきましては、「男」、「女」の選択肢のみとなっており、必然的に必須項目と同様の扱いとなっております。</p> <p>性(セクシュアリティ)の多様性につきましては、市としましては十分認識していたものの、人権への配慮に欠ける部分がありましたので、「性別」の項目につきましては、選択肢を設けず、自由記述へと改めさせていただくこととしました。</p> <p>皆さまからの貴重なご提言やご意見が、より良いまちづくりにつながっていくため、今後とも、「世界一元気な沼津」の実現に向け、市政への更なるご参画をいただきますようよろしくお願いいたします。</p>	広報広聴課市民相談センター

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
12月5日	12月28日	<p>市HPにある駿河湾深海生物館について 沼津市のホームページを見ていたところ、戸田の戸田造船郷土資料博物館・駿河湾深海生物館のページが2008年頃から変更されていませんでした。 今年、駿河湾深海生物館はリニューアルされていると思います。それに対し協力されている方にも失礼かと思いますので、SNS等に主眼が置かれ始めているのかもしれませんが訂正が必要かと思います。</p>	<p>ご指摘の件につきましては、早急にHP修正作業を行い、公開しました。今後は市HPで公開している情報が最新のものとなるよう注意を払ってまいります。</p> <p>なお、本市戸田地区の深海魚観光に関する広報施策の一つとして、ご指摘のFacebookのほか、戸田地区深海魚活用推進協議会が作成したHP(http://www.deep-heda.com/)もございますので、そちらもご覧いただければ幸いです。</p>	水産海浜課

平成29年9月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
9月7日	10月2日	<p>市長と語る会に参加して感じたことについて</p> <p>市長と語る会は、フリートーキングと思って出席したが、地域自治課と連合自治会がお膳立てをして、決められたストーリーで進行しているように思われた。自由意見を遮られたと感じた。</p> <p>「世界一元気な沼津」への施策は良いと思うが、どのような姿になるのか、全体像とスケジュールが見えないので、総花的です。維持継続の組織体制は出来ていますか。</p>	<p>市長と語る会「元気な沼津！まちづくりトーク」にご参加いただきましてありがとうございます。</p> <p>市長と語る会については、地域の現状、課題などについて、市民の皆様と市長が直接意見を交換する場を設け、より強固なパートナーシップのもとで協働のまちづくりを推進することを目的として、各地区の皆様のご協力をいただきながら、市内全18地区において開催しました。</p> <p>この中で、意見交換については、まずは、地域において共通する課題等に関して、各地区の自治会及びコミュニティからいくつかのテーマを挙げていただき、それに対して市から回答し、その後、会場の方から自由にご意見を伺う形としました。</p> <p>しかし、時間の制約もあるため、ご意見のある全ての方にご発言いただけないことも想定し、各会場に「市民の声」の用紙と封筒をご用意し、ご意見のある方にご提出いただけるようご案内しました。</p> <p>「世界一元気な沼津」の実現に向けては、まちづくりの主役である市民の皆様と行政との対話が重要であると認識しており、今回実施した市長と語る会のような対話の場として、いただいたご意見を参考に、フリートーキングの実施について検討してまいりたいと考えております。</p> <p>また、「世界一元気な沼津」については、市長講話でお話ししましたとおり、市民の皆様一人ひとりが、沼津が世界で一番だと実感でき、沼津に住んで本当によかったと思えるまちであり、その実現に向けては、市民の皆様とともに、まちの将来イメージを描き、その情報を共有し、皆様と同じ目標に向かい一つになって進んでいくことが大切であると考えております。</p> <p>このため、市政運営の基本的な考え方や主要施策、まちの将来イメージについて、市民の皆様にご理解いただくとともに、まちづくりに関心を持って参加していただくことを目的に、9月15日号の広報ぬまづから3回に分けてリーフレットを同時配布しますので、ぜひご覧いただきたいと思っております。今後も、あらゆる機会を捉え、様々な手段を用いて市政情報の積極的な提供に努めてまいります。</p> <p>なお、組織については、本年度、市長の特命施策について部局を超えて組織横断的に推進するため、部長級職員の「市長戦略監」を置くとともに、企画部に「市長戦略室」を置き、スピーディな課題解決による効果的な市政運営に努めております。</p>	市長戦略室

平成29年8月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
8月14日	9月15日	<p>行政事務の効率化(IT導入)【広報ぬまづの刷新】について 行政事務の効率化(IT導入)についての提案です。 現在、「広報ぬまづ」は全戸月2回配布されているが、おそらく半分くらいしか見られていないと思う。 そこで、沼津のホームページを刷新して、パソコンやスマホでも見れるようにしたらどうか。 同時に月1回の発行とし、従来通りの冊子希望者の把握が必要となるが、大幅は経費削減となる。</p>	<p>沼津市では、多くの市民の方に市政情報等を周知し、ご理解いただくため、積極的な広報活動に努めております。 広報ぬまづについては、冊子により全戸配布するほか、ホームページに掲載し、パソコンやスマートフォンから閲覧することができます。 また、スマートフォン向け情報アプリ「マチイロ」からも広報ぬまづ掲載内容を発信しております。 広報ぬまづの発行については、市民意識調査等で、多くの市民の方が広報紙「広報ぬまづ」から市政情報を得ており、従来通り月2回の発行を希望しております。 限られた財源で発行するため、掲載内容の精査や現状に合った発行部数の調整を行い、コスト削減に努めております。 今後もより多くの市民の方に市政情報をお伝えするため、「広報ぬまづ」だけではなく、ホームページやSNS等を活用し、市民ニーズに合った情報発信に努めてまいります。</p>	広報広聴課

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
8月30日	9月15日	<p>地区の意見を聞く市長との話し合い会について</p> <p>地区センターに市長さんがおいで下さいまして、市長さんの方針を伺い、また地区の問題点等を話し合うことができ、大変有意義な会になり、誠に有難うございました。</p> <p>今回の話し合い会を通じて感じた事は、市長さんの気取らないざっばらんな姿勢であり、誰もが議員になると先生になり、選挙の時は低姿勢であっても、いざ当選した後は、意見はもとより知らぬ顔の人が多くありますが、市長さんは、その点素晴らしいと思いました。</p> <p>各地の実態の把握をするための会合を各地で開催する。これだけでも、なかなか出来ない事であり、市長になって間もないかもしれませんが、自己が解らない時は、いい加減な答弁ではなく、部長なり課長に聞いて、あるいは答弁させていましたのを感じました。</p> <p>市長さんの言動から見ると、部長や課長はうかうかしていられないと思いました。まさに有言実行の人であり、理系のタイプの良い点を垣間見ました。</p> <p>小生も第一の会社、第二の会社では、第一線で働く人達が一番偉い人であり、所長も管理者も全く偉くはなく、この第一線で働いてくれている人達があるから、管理者でいられるのだから、第一線の人達を大切にするように話してきました。</p> <p>昨今市役所に参る機会が多くありますが、職員の接客態度の変化がみられて、大変満足しておりますが、これも市長さんの方針が末端まで周知徹底している証だと思えます。市役所の職員は、公僕だとか我々の税金で等と言うつもりはありません。</p> <p>どうか、今回の話し合いでお約束頂きましたが、大変繁忙とは思いますが、なるべく機会をつくり、各地での現状報告や情報交換をしていただければ沼津も更に良くなると思っております。誠に勝手な意見を申し上げましたが、これからも市長さんにお逢いできる事を楽しみにしております。</p>	<p>先日は、「元気な沼津！まちづくりトーク」にご参加いただき、ありがとうございました。</p> <p>同会での市長講話にもありましたとおり、まちづくりの主役は市民の皆様です。市民の視点に立ち、市民の力を活かして「世界一元気な沼津」をつくるためには、市でどのようなことが行われているのか、市で何を目標に事業を進めているのかなど、市民の皆様に対して積極的な情報提供を行うとともに、皆様からも行政に対して気兼ねなく意見を提案できる環境づくりが大切であると考えております。</p> <p>今回の「まちづくりトーク」のみならず、説明会なども含めた様々な機会を通じて、市民の皆様との対話の場を設けてまいりますので、今後とも、「世界一元気な沼津」の実現に向け、市政への更なるご参画をいただきますようよろしくお願いたします。</p>	市長戦略室

平成29年7月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
7月6日	7月24日	<p>広報ぬまづ7月1日号について 本来は無償で配布されてるものを有償で販売している沼津市民と思われる方がいますが、沼津市としてどうお考えですか？ 沼津にお金が落ちるならそれでいいみたいな考えでしょうか？また、沼津市外の間はこういった販売している方々から積極的に「広報ぬまづ」を購入してもいいですか？</p>	<p>広報紙「広報ぬまづ」については、沼津市民に対し市政情報や各種イベント情報を発信し、市民の理解と協力を深めることを目的として発行しております。 7月1日号の広報ぬまづについては、現在、注目されているアニメ「ラブライブ！サンシャイン！！」を特集として取り扱ったことから、多くのファンが広報紙を強く求める状況となっております。そのため、今回の広報紙を持っている人の中には、ネットオークション等で販売しており、その現状はすでに認識しております。 しかしながら、配布後の広報ぬまづの取り扱いについては、広報紙自体が個人所有物となるため、行政の立場として売買に対しては介入できないことと考えております。 今後も沼津市の広報活動にご理解とご協力をお願いします。</p>	広報広聴課

平成29年6月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
6月1日	6月21日	<p>Numazu Newsletterについて</p> <p>【原文】 hello! I was just wondering why there is no longer an online version of the Numazu Newsletter. It was such a big help. Please bring it back.</p> <p>【翻訳】 私は、Numazu Newsletter(広報ぬまづ)のオンライン版がなぜ存在しなくなったのか不思議でした。それは私にとって大きな助けであった。どうぞ、それを戻してください。</p>	<p>広報ぬまづの英語版については、昨年度まで、外部の団体に英語翻訳をお願いし、翻訳された原稿をホームページに掲載しておりましたが、先方からスタッフ不足により、翻訳作業が行えないとの申し出があり、4月より英語版広報ぬまづをやむを得ず休刊としております。</p> <p>現在、早急に再開できるように準備を進めておりますので、ご了承願います。再開が見込まれましたら改めてご連絡させていただきます。</p>	広報広聴課
6月26日	7月10日	<p>市民意識調査インターネット回答について</p> <p>今回、アンケートに選ばれましたが、答えるためインターネットより回答を始めました。記入しているとセッションが途切れたためといい、記入した内容が全部消えてしまいました。2回ほど作成しましたが、(1時間ほどを2回)時間の無駄になってしまいました。</p> <p>率直な意見を述べていただけに、こういうシステムは作らないでください。</p>	<p>この度は市民意識調査のインターネット回答について、ご不便をおかけして申し訳ありませんでした。</p> <p>インターネット回答につきましては、回答者の利便性向上を目的とし、平成28年度よりしずおか電子申請サービスを利用し、取り組んでおります。</p> <p>利用時に接続が途切れるという状況については確認ができませんでしたが、本サービスでは、安全対策のため、操作されない時間が60分を超えるとタイムアウトとなる設定になっている他、自由記述におきましては、3500文字が入力の上限となっております。</p> <p>今回のご指摘を踏まえ、インターネット回答のWebページ内へ、その旨を掲載いたしました。</p> <p>今後とも、市民のみなさまから、より多くの意見を受けられるように努めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。</p>	広報広聴課